

大分県広域受援計画の修正(概要)

1. 大分県広域防災拠点基本計画の見直しに伴う修正

(1) 県立武道スポーツセンター新設に伴う修正

○武道場をSCU(広域搬送拠点臨時医療施設)として活用

- ・ドーム地下2階会議室から移設

○メイン競技場を公園利用者の一時避難所として活用

- ・県立情報科学高校に加え、メイン競技場を一時避難所として活用
(収容人数2倍 約1,000人→約2,100人)

[武道場を3区画に分けて活用]

道場1…治療スペース
(面積が従来の2.8倍 289㎡ → 804㎡)

道場2…DMAT-SCU本部

道場3…医療チーム(DMAT以外)の参集拠点(新設)

(2) 熊本地震等の検証に伴う修正

○燃料補給体制の強化

- ・大分県石油商業組合と連携して、大分スポーツ公園内の駐車場に臨時給油所を設置

○ヘリポート用夜間照明設備の整備

- ・夜間にヘリコプターによる傷病者及び応援部隊を受入れる場合は、移動式ヘリポート用夜間照明設備を活用

2. 支援物資輸送体制の強化に伴う修正

○県と宅配事業者との協定

- ・市町村が物資の輸送手段を確保できない場合は、県が市町村の要請を受け代わりに宅配事業者へ要請
- ・支援物資の輸送にカゴ車を活用

3. その他

○ネーミングライツ変更に伴う修正

- ・大分銀行ドーム → 昭和電工ドーム大分(H31.3~)

○大分県災害対応支援システム(H31.5月中旬導入)を追加

- ・支援物資の管理にシステムを活用



